

平成30年度 第3回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会 開催報告

「医療分野における AI・IoT 利活用の最前線と中国地域の研究シーズ・ニーズ」

主催：公益財団法人中国地域創造研究センター

【概要】

公益財団法人中国地域創造研究センターは、2018年11月28日(水)、広島市のホテルセンチュリー21広島において「平成30年度 第3回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会」を開催しました。本交流会は、中国地域企業のヘルスケア・医療福祉機器分野への新規参入や新製品・事業化につながる出会いの場となることを期待して、この分野の最新情報や大学等における研究シーズ・ニーズを紹介するものです。「医療機器」をテーマとする今回は、「医療分野における AI・IoT 利活用の最前線と中国地域の研究シーズ・ニーズ」と題して開催しました。

講演1では、東京女子医科大学 先端生命医科学研究所の岡本 淳 特任講師から、多様な医療機器を IoT で連携させて診断と手術を同時に進められる“スマート治療室 SCOT(Smart Cyber Operating Theater)”の開発事例と医療機器のネットワーク化に関する今後の展望についてご紹介いただき、講演2では、日本電気(株)データサイエンス研究所の森永 聡 主席研究員から、NECの人工知能“NEC the WISE”の開発と医療分野での適用事例についてご紹介いただきました。参加者からは、「未来の治療室の在り方を見たような感じです」、「AI の医療への利活用システムの全体像および技術構成の概念が良く理解できました」といった声をいただきました。

研究シーズ・ニーズ発表では、広島国際大学の山本 めぐみ 助教、山口大学の大木 順司 教授、広島市立大学の式田 光宏 教授および広島大学の桐本 光 教授に研究シーズ・ニーズを発表していただきました。

1社が2件の発表に関心を示され、今後、マッチングに向けた事業化検討会を進めて参ります。

【講演会場風景】



【日程・場所】

日時：2018年11月28日(水) 13:30～17:25

会場：ホテルセンチュリー21広島 (広島市南区的場町 1-1-25)

【参加者】 92名

【プログラム】

- | | | |
|----------------------|---|----------|
| (1) 講演1 | 「IoT・AI で実現する“スマート治療室 SCOT”
～医工連携による次世代医療機器開発と今後の展望～」
東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 大学院研究科
先端生命医科学系専攻 先端工学外科学分野 特任講師 | 岡本 淳 氏 |
| (2) 講演2 | 「NEC の人工知能“NEC the WISE”の開発と医療分野における利活用」
日本電気(株) データサイエンス研究所 主席研究員 | 森永 聡 氏 |
| (3) 研究シーズ・
ニーズ発表1 | 「人工知能技術を使った新しい血管描出法の開発」
広島国際大学 保健医療学部 診療放射線学科 助教 | 山本 めぐみ 氏 |
| (4) 研究シーズ・
ニーズ発表2 | 「画像データを用いたテラーメイド型医療シミュレーション
～脊椎・脊髄疾患の病因解明と術前予測への応用～」
山口大学大学院 創成科学研究科 機械工学系専攻 教授 | 大木 順司 氏 |
| (5) 研究シーズ・
ニーズ発表3 | 「MEMS 技術で作製する医用デバイスの応用事例
～マイクロニードルを用いた次世代経皮吸収製剤技術の開発～」
広島市立大学大学院 情報科学研究科 医用情報科学専攻 教授 | 式田 光宏 氏 |
| (6) 研究シーズ・
ニーズ発表4 | 「静磁場刺激の臨床応用と刺激用ヘッドギアの開発」
広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 感覚運動神経科学教室 教授 | 桐本 光 氏 |



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>